

# 第1章 科学としてのマクロ経済学

## マクロ経済学



教員：奴田原 健悟

<http://www.kengonutahara.com/teaching>

# 第1章のアウトライン

## 第1章の授業でやること

- 1 マクロ経済学で重要なトピック
- 2 マクロ経済学者のツール
- 3 マクロ経済分析で重要な概念

## 教科書との関係

- ▶ 「マンキューマクロ経済学I（入門篇）」（東洋経済新報社）の第1章

# 1. マクロ経済学で 重要なトピック

# マクロ経済学とミクロ経済学

**ミクロ経済学**：微視的（ \_\_\_\_\_ ）な  
視点から経済を分析する

- ▶ 個々の消費者の行動
- ▶ 個々の企業の行動
- ▶ 個々の市場

**マクロ経済学**：巨視的（ \_\_\_\_\_ ）な  
視点から経済を分析する

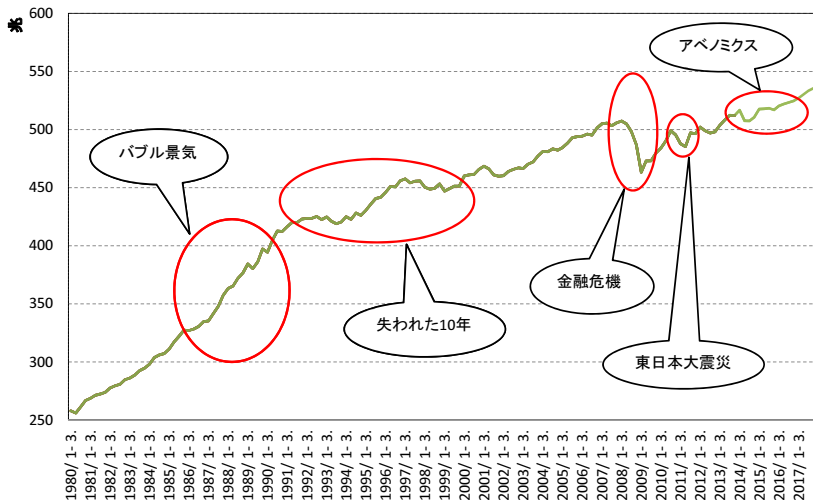
- ▶ \_\_\_\_\_ 規模以上の経済現象を分析対象とする

# マクロ経済学で重要なトピック

- ① 人々の \_\_\_\_\_ はどのように変化するか？
- ② なぜ \_\_\_\_\_ している人がいるのか？
- ③ \_\_\_\_\_ はどのように変化するか？
- ④ \_\_\_\_\_ はこれらの問題に対して何かできることがあるか？

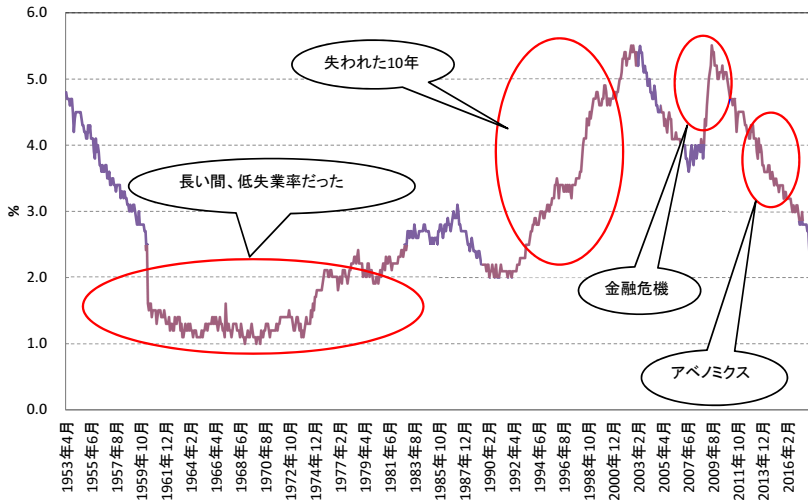
# (所得の指標) 実質GDPの変化

実質GDP(四半期別GDP速報:2次速報、平成23年基準)



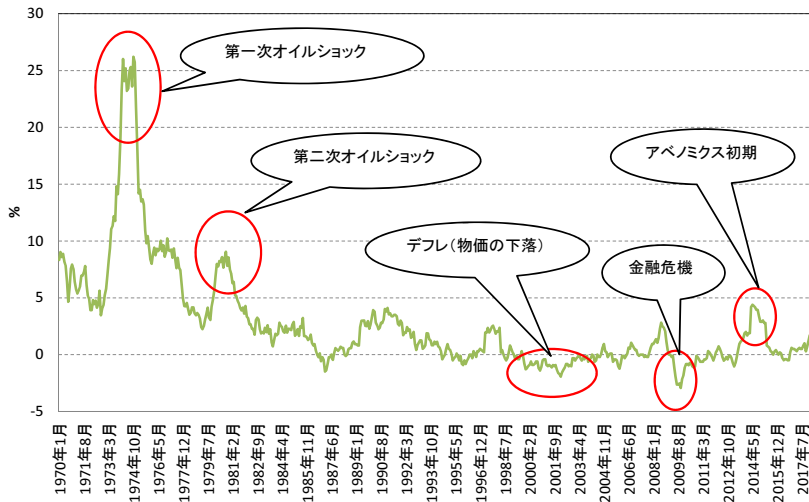
# (失業の指標) 失業率

完全失業率(労働力調査:全国、男女計)



# (物価の指標) インフレーション

インフレ率(CPIの前年同月比)





# 2. マクロ経済学者 のツール

# 経済モデル (1/2)

経済学者は、 \_\_\_\_\_ を使い分析する

複雑な現実を、分析のために単純化したもの

- ▶ \_\_\_\_\_ を用いてモデルを記述する
- ▶ 分析の本筋と関係ないと考えられる部分は捨象する

モデルを使って、

- ▶ ある経済変数間の関係を示す
- ▶ 経済の動きを説明する
- ▶ ある政策の効果进行分析する

# 経済モデル (2/2)

## 内生変数と外生変数の区別

- ▶ \_\_\_\_\_ : モデルで説明したい変数
- ▶ \_\_\_\_\_ : モデルが所与とする変数

## 例) 消費税増税の消費への効果进行分析するモデル

- ▶ 消費税 : \_\_\_\_\_ 変数
- ▶ 消費 : \_\_\_\_\_ 変数

# モデルの多様性

すべてを説明できる「 \_\_\_\_\_ 」  
は存在しない！

⇒ マクロ経済学の授業では、分析の対象（所得、インフレーション、失業など）に応じて、様々なモデルを学ぶ

## モデルを学ぶときに注意すべきこと

- ① どんな \_\_\_\_\_ を置いているか
- ② 何が内生変数で、何が外生変数か
- ③ 何を説明するモデルか、説明できないのは何か

# 3. マクロ経済学で 重要な概念

# 価格：伸縮価格 vs. 硬直価格

市場清算 (market clear) の仮定：需要と供給が一致するように、価格は \_\_\_\_\_ 的に変化

⇔ 価格は \_\_\_\_\_ で、市場の需給が一致しないかもしれない

例) 労働賃金、雑誌の価格、など

## モデルとの関係

- ▶ \_\_\_\_\_ の古典派モデル：価格は伸縮的
- ▶ \_\_\_\_\_ のケインジアンモデル：価格は硬直的